

踵骨 CT-MPR における再構成断面について

[演題名] 踵骨 CT-MPR における再構成断面について

[施設名] 高知医療センター

[発表者] 今城健吾

[発表者 E-mail] kenken19890920@gmail.com

[発表内容]

踵骨骨折においては骨片評価、骨折型分類は単純 X 線撮影で行うことが一般的であるが、形態的特徴上、関節内骨折となる頻度が高く関節面の評価を行う上で CT の有用性は高い。また、CT による骨折分類も報告されていることから踵骨骨折における CT の撮影意義は高い。四肢骨系の CT は MPR で 2~3 方向に再構成する事が一般的であり、踵骨に関しても任意の断面に再構成を行う。しかし、基準線に対するガイドラインがなく各施設で再構成断面が異なるのが現状である。今回、踵骨 CT において関節内評価に重点を置き、かつ再現性の高いスライス断面の検討を行ったので報告する。